

若者や保護者に 企業の情報を伝えるには

チームE1

治部直樹 宮崎樹 富樫綾歌 栗野竜二

課題

庄内地域では、若者の地元定着率（高卒の地元就職率の低下）が、県内の他地域（村山・最上・置賜）より低いことが課題となっている

▶ 背景

庄内地域の企業の情報が若者に届いていない

就職よりも進学する人のほうが多いため、企業の情報を求めている人が少ない。

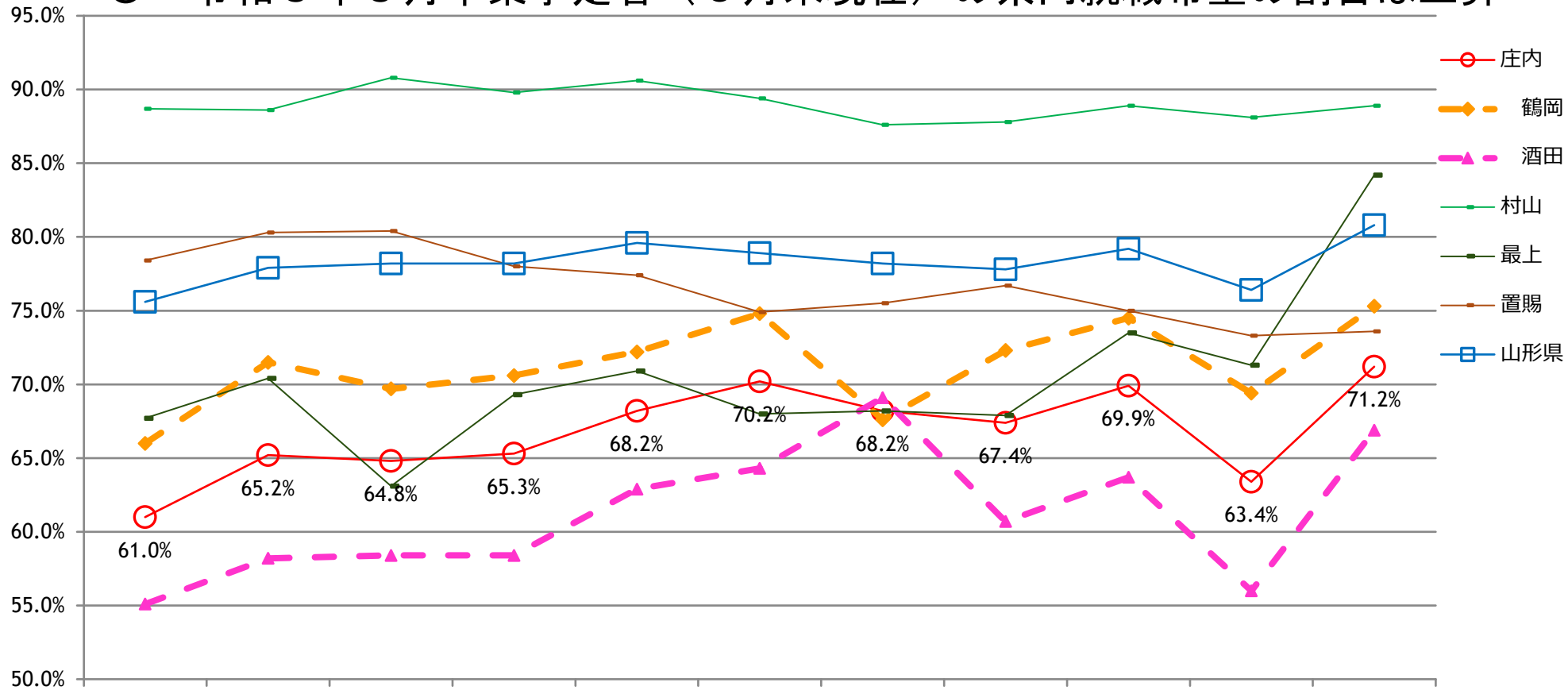


私たちは、地元企業の情報や魅力について、就職を希望する生徒や保護者に確実に届くようにするにはどうしたらよいか、私たち若者目線で考えました。

令和2年3月の庄内地域の県内定着率（県内就職者数/全体就職者数）は63.4%

○ 庄内地域の県内定着率は県平均を大きく下回って推移

○ 令和3年3月卒業予定者（6月末現在）の県内就職希望の割合は上昇



情報提供：山形労働局、酒田公共職業安定所、鶴岡公共職業安定所

現状に対する庄内総合支庁の取り組み

▶ 庄内若者定着促進会議

産・学・官・金・労・言の各界が、危機感を共有しながら意思疎通を図り、若者人材の定着・回帰を促進する施策を検討

▶ ワーキングチーム会議

- ① 企業との交流、企業説明会、企業見学、情報発信の事業を推進
- ② 学生支援、学校PR、魅力発信の事業を推進
- ③ 企業説明会、情報発信、企業との交流事業を推進
- ④ 移住相談会、情報発信、移住体験の事業を推進

庄内総合支庁の取り組み

▶ 高校生と地元企業との交流会

地元企業による企業説明等の交流の場を設定し、
若手人材の地元定着を促進

[R元実績] 3校（庄内総合高、酒田光陵高、鶴岡工業高）で実施、
企業 延べ100社、生徒 計660人参加

[R2 予定] 4校（庄内総合高、酒田光陵高、鶴岡工業高、酒田南
高校）で実施

▶ 学生・UIJターン庄内就職説明会

新卒大学生・UIJターン希望者を対象に、地元企業の担当者との就職面談の場
を共有し、若手人材の地元定着を促進

[R元実績] 新型コロナウイルス感染症の影響により中止

[R2 予定] 学生の就職活動開始時期に合わせ3月20日、21日に開催

庄内総合支庁の取り組み

▶ SNSを活用した地域企業の魅力発信「いいね！庄内の企業」

高校生や保護者に直接地元企業の情報を届けることを目的に、SNS等（庄内総合支庁Facebook）を活用して情報発信 * 現在29社の企業を掲載している。

▶ 山形公式LINEアカウントの利用

LINEを活用した県内での就職活動に役立つ情報を発信。

県内大学等進学者保護者への情報提供事業で山形県公式LINEアカウント登録を呼びかけ。

「いいね！庄内の企業」掲載のお知らせやウェブ合同企業説明会・面談会の情報を提供。


若者定着促進の取組状況⑥－１ ＜大学生・Uターン者向け＞

「庄内就職説明会」	庄内地域に就業場所のある企業約110社による合同企業説明会(3月:2日間、会場:三川町なの花ホール)
「保護者向け地元就職情報の提供」	地元企業でのインターンシップ情報や求人情報等地元就職に役立つ情報の提供(年3回:大学であれば3年の6月、11月、3月)
「保護者のための就職ガイダンス」	新卒採用状況、山形県の産業等に関する外部講師による保護者向けセミナー
「就職サポート登録」	登録されたアドレスに就職活動に役立つ情報を定期的に発信
「山形県就職情報サイト」	県内企業就職情報のポータルサイト
「山形県若者定着奨学金返還支援事業」	卒業後に県内に定住・就業すると、奨学金の返還について支援を受けられる事業
「山形県Uターン就職活動交通費助成事業」	県内で企業のインターンシップに参加したり採用面接を受ける場合の交通費助成事業

提案

▶ 情報の伝え方

現在はFacebookを使って、情報を伝えている。
フォロワー数は2048人（2021年2月26日調べ）

Facebookではなく・・・


TwitterとInstagramを使う

・ハッシュタグを活用すること

例) #企業説明会 #就活 #〇〇年卒 など

提案

▶ 高校生の就職体制を変える

高校生の就活は、

- ・ 始める時期が遅い
 - ・ 一人一社制度
 - ・ 学校側の対応や、経験、知識不足
- などが、**問題点**である

前のページの続き

▶ 改善するために・・・

- ・ 生徒と企業のミスマッチをより少なくするためには、二社以上受けられるようにする

→ 実質的な一人一社制制度の廃止

- ・ 高校での就職活動の経験のある先生の配置

進路相談課の経験のある元先生や、アドバイザーの配置

提案

▶ 高校生、大学生に意見を求める

- ・ 高校、大学へSNSアカウント作成を宣伝
→集まったら、アンケートや、意見を求める
- ・ 保護者にも行う



不安点

- ・ アカウントが、高校生なのかどうか分からない。
- ・ フォローするか、本人次第

提案

▶ 保護者向けの説明会

- 保護者会の利用
- 行政が行う、補助金やUIJターンなどの説明会



保護者からアドバイスができる

まとめ

- ▶ 主流のSNSを使って、情報発信をする
- ▶ アドバイザーやサポートの配置
- ▶ 学生や、保護者が、何を求めているのか調べることは現状を変えるために手っ取り早い方法だと思う

ありがとうございました